

つどい場みち善法寺運営推進会議 会議録

年月日時	H28/10/18 PM13:30～PM15:30	記録者	矢部 美智子
委員出席者	利用者代表	大西 賢子様	
	利用者家族代表	長井 敏子様	
	善法寺万年青会 会長	岡田 澄江様	
	小田北地区地域包括支援センター	小松 覚様	
	善法寺社会福祉協議会 副会長	内田 智美様	
事務局	つどい場みち 理事長	浦田 美智子	
	つどい場みち善法寺 管理者	高橋 一平	
	つどい場みち善法寺 介護職員	矢部 美智子	

□理事長挨拶

- ・運営推進会議の趣旨説明
- ・つどい場みち発足の方針、当事業所の紹介
- ・出席者の意見、要望、評価等のお願い、運営に関する協力依頼。

□委任状交付式 出席者自己紹介

□要綱提示 全条文の内容確認

□活動状況報告 (高橋担当)

- ・つどい場みち善法寺概要の提示
 - ・1年半に至る活動報告……当デイサービスの特徴として
1. 比較的介護度の高い方が多い、その内のお一人は終日車椅子生活でおられたがリハビリに励むことで手引き歩行が可能になった。
 2. 午前には体操、脳機能訓練、口腔体操を日課として実施。
午後より入浴(個浴)、種々のレクリエーション(らくしゅう式脳リハ、個別リハビリ、製作、歌レク、ゲーム)を主に行う。
 3. 夕食サービスを提供、一人暮らしの方も多いため利用率は高い、また戸ノ内デイサービスでは宿泊サービスも行い利用者、家族様からの要望に対応。
 4. 障害者の方の利用も受け入れ可。
 5. スライド使った活動状況紹介、説明……オープニングの催し(獅子舞)、季節行事(境内でのコンサート、夏祭り、クリスマス会)、誕生会、作品作り、たこ焼きレク、外出(近所の喫茶店、農業公園、海釣り公園)

□出席者からの意見

- ・駅への通り道であるのに目立たない。
 - 知ってもらう為に宣伝が必要、折り込み広告(利用内容分かり易いもの)を配布する。
- ・周辺に高齢者が多いのに利用が増えない。
 - デイサービスや万年青会参加の勧誘には閉鎖的、敬遠気味であるためアピールが必要。

- ・地域包括では介護保険利用に至る前に介護予防に努め介護度を遅らせるのが業務、またケアマネ不足の為必要な利用者を掌握できない現状である。
アピールの一つとして時間内での夕食サービスがあげられる、時間外でのサービスは事故が増えている等の難点があるが、時間内のサービスであれば紹介し易い。
(地域包括、小松様)
- ・交流を図ることで知ってもらいきっかけになる。作品展に出展(コーナーを設けるなど工夫) 毎月1回の会議、誕生会に出席してデイの紹介、情報提供を行う。(万年青会、岡田様)
- ・午前の体操は車椅子の方も充分可能であると実際に目にして感じている。(大西様)
- ・お昼だけでなく夕食も済ますことができれば安心して帰宅できるように思う。
入浴は1対1での対応であるのはありがたい、小規模の特徴を知ってもらうことが大切。(内田様)
- ・食事は手作り、家族的であるのが魅力。(大西様、内田様、長井様)

□会議を終えての感想

- ・1日に数件会議に出席しているが他とは別の新鮮な印象を持てた。(小松様)
- ・知らない事が多く参考になり今後交流を深める材料となり得た。(岡田様)
- ・毎日のデイが楽しみ、これからもよろしく。(大西様)
- ・知らない事がたくさんで勉強になって良かった。(内田様)
- ・今日の報告で母が楽しんでいる理由が分かったように思う、安心しました。(長井様)